三菱食品店舗管理システム“ MELSISIV ”

保坂貴司*
小倉　誠*

The Control Systems to Manage Temperature of Showcase in Food Store “ MELSIS−IV ”

Takashi Hosaka, Makoto Ogura

要　旨

三菱食品店舗管理システムは，規模が大型化する食品店舗に対して，据付工事と日常メンテナンスの容易化を目指して開発を行ってきた。また，並行して省エネルギーについても技術開発を進め，実現手段として，より正確に，より精密な動作をショーケースに求めることとなった。

そのために，食品店舗管理システムも，付加した機能に対応してショーケースへの管理機能を増加させ，合わせて，保全などの省人化技術についても発展をさせてきた。

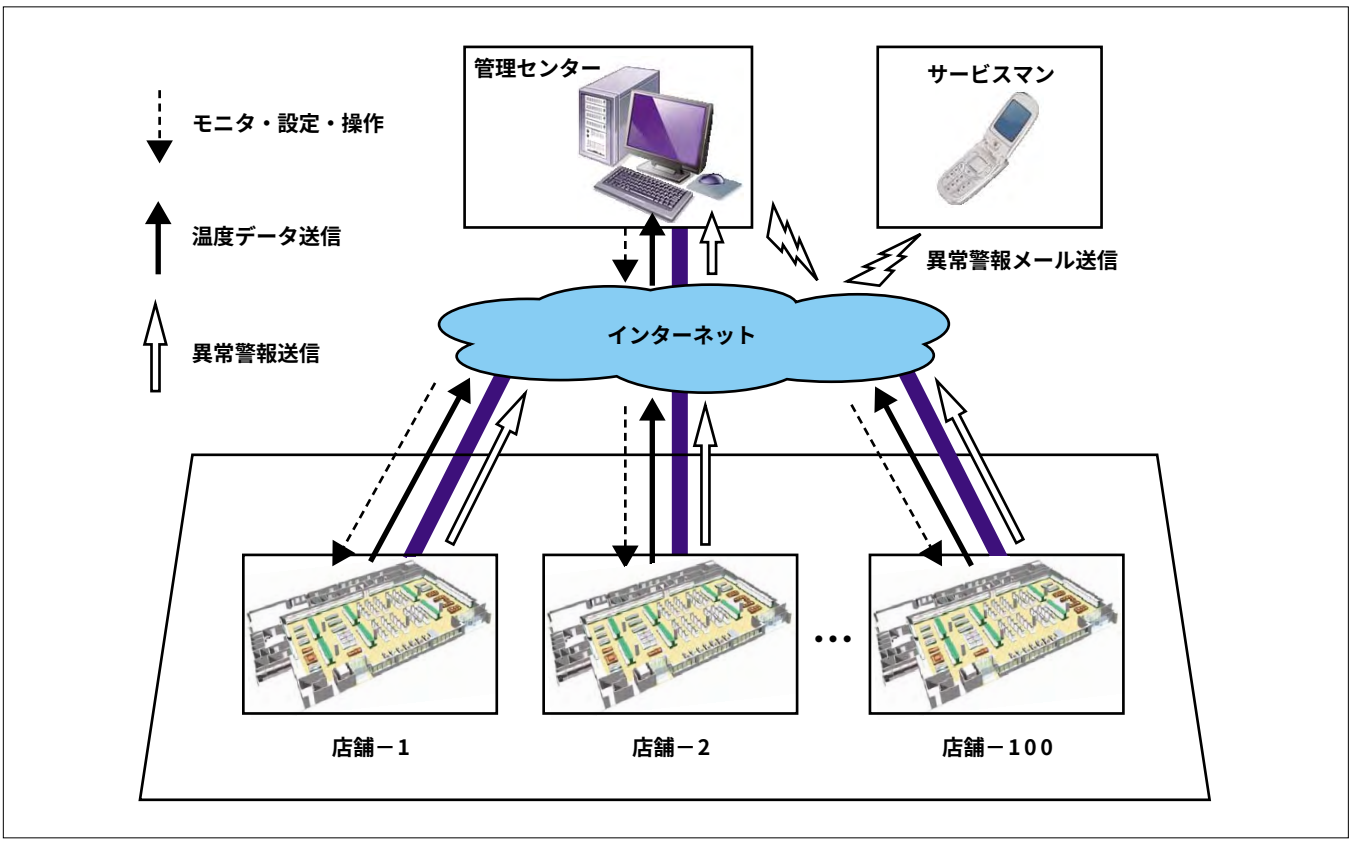
ただし，遠隔管理システムを開発した1999年当時は，現在に比較してパソコン処理能力が低く，通信もデジタル回線での64kbpsが主流であったため，実用上として扱えるデータ量は数日分であった。

その後，ショーケースは省エネルギー性能向上のために，更に温度センサを追加し，かつ食品店舗側ではより細かく，より長期間のデータ管理を求める声が高まってきた。

また同時に，パソコン処理能力と通信インフラが指数的に高性能化したことで，大量のデータを瞬時に処理できる基盤が整った。

そこで，2007年に温度管理システムと遠隔管理システムの機能見直しを行い，最大管理台数150台で最大４か月のデータ（３Gバイト）を扱え，電子メールでの通報機能も付加した三菱食品店舗管理システム“ MELSISIV(注1) ”を2007年11月から市場に提供を開始した。

（注１）　MELSIS：Mitsubishi Electric Showcase Intelligent System



三菱食品店舗管理システムによる遠隔管理の対応

管理センターと食品店舗とをインターネットを利用して接続する。管理店舗数は最大１００店舗である。店舗側システムは1分ごとにすべてのショーケース（最大１５０台）の温度データを集積し，管理センター側からの指示で蓄積データを送信する。管理センターでは温度データから各店舗の運転状況を解析し，異常があればその内容をサービスマンの携帯端末へ電子メールで通報する。また，緊急異常は発生と同時に電子メール通報を行う。

*日本建鐵㈱